

|          |                 |         |    |     |      |
|----------|-----------------|---------|----|-----|------|
| 授業科目名・形態 | 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ 演習 | 必修・選択の別 | 選択 | 単位数 | 1    |
| 科目担当者氏名  | 藤田 碧            | 実務経験の有無 | 有  | 開講期 | 3年前期 |

### 【授業の主題】

公衆衛生看護活動は、地域全体をひとつのまとまりとし、地域で生活している人々の健康や生活の質（QOL）の向上を目指す活動である。公衆衛生看護活動の土台であり出発点であり、また実践活動と連動する地域診断の基本を学びます。地域に顕在・潜在している健康課題を見出し分析し、地域特性やヘルスニーズに合わせた公衆衛生看護活動を展開する過程を学修します。

### 【到達目標】

- 1) 地域の人々の生活と健康を多角的にアセスメントする方法を理解する
- 2) 地域の顕在的・潜在的健康課題を抽出する方法を理解する
- 3) 地域の健康課題に対する支援計画（保健活動計画）の立案方法を理解する
- 4) 予算の仕組みや保健活動計画に必要な予算策定方法を理解する

### 【授業計画・内容】

|        |                  |        |                             |
|--------|------------------|--------|-----------------------------|
| 第 1 回  | 地域診断の概念・目的・意義    | 第 13 回 | 保健活動計画（事業計画）の作成<br>（グループ演習） |
| 第 2 回  | 情報の収集            | 第 14 回 | 保健活動計画（事業計画）の作成<br>（グループ演習） |
| 第 3 回  | 情報の分析・問題・課題の明確化  | 第 15 回 | 保健事業計画の発表<br>授業のまとめ         |
| 第 4 回  | 情報の収集（グループ演習）    |        |                             |
| 第 5 回  | 情報の収集（グループ演習）    |        |                             |
| 第 6 回  | 地域診断の理論モデル       |        |                             |
| 第 7 回  | 保健活動計画の策定・評価     |        |                             |
| 第 8 回  | 保健師の業務測定         |        |                             |
| 第 9 回  | 保健師の業務測定（演習）     |        |                             |
| 第 10 回 | 地域保健計画（位置づけ・評価等） |        |                             |
| 第 11 回 | 予算の仕組み・算出方法      |        |                             |
| 第 12 回 | 予算の算出方法（演習）      |        |                             |

### 【授業実施方法】

講義 演習

### 【授業準備】

教科書をよく読むこと。

### 【主な関連する科目】

公衆衛生看護学の科目全般

### 【教科書等】

佐伯和子ほか：公衆衛生看護学テキスト 2 公衆衛生看護の方法と技術第 2 版、医歯薬出版株式会社、2022  
厚生統計協会編「国民衛生の動向 2021/2022 年」2020 年、2021。

### 【参考文献】

佐伯和子：地域保健福祉活動のための 地域看護アセスメントガイド 第 2 版 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案、医歯薬出版株式会社、2018

### 【成績評価方法】

筆記試験 85%、課題レポート・演習への取組等 15%により総合的に評価する。

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師経験を活かして地域の健康状態を広く把握する手法を伝えていきます。

### 【学生へのメッセージ】

即実践につながる科目です。積極的な演習により身につくことが多い科目なので、積極的に取り組んでください。授業の流れを意識しながら学びましょう。また日ごろ暮らす地域や出身地について、健康課題を見出すという意図をもってみつめなおし、公衆衛生看護の思考過程を習得しましょう。